草加 東日本勢最高 8強

草加	
選手名	学年
上野 戎也	③
西崎 紀人	③
下々 達閣	③
毛掘 友裕	③
佐品 辰裕	③
松佐 雅	③
岩菅 朋拓	③
加村 大	③
峰岑 晃恭	②
高雨 涼	②
富伊 隆	②
岩小 一	②
竹武 和	②
田	②

※名簿の学年は新学年、白抜きは主将

3回戦の5回2死一、二塁、草加は塩野の二塁打（写真上）で、村上㊧と安西友紀が生還

46チームが出場した全国大会で北海道、東北関東甲信の東日本ブロック勢は、草加ボーイズ（埼玉）の8強が最高だった。

報知新聞社主催 第45回 日本少年野球 春季全国大会（3月26日～30日、東京・大田スタジアムほか 中学生の部）優勝候補に名を連ねた志村ボーイズ（東京東）は、3回戦で優勝した枚方ボーイズ（大阪北）と対戦して惜敗。初出場の宮城利府ボーイズ（東北）は、東北勢で初めて2勝を挙げる大健闘を見せた。

夏の全国大会へ再出発

▽2回戦
草加ボーイズ（埼玉） 8 3 3 0
松山中央ボーイズ（愛媛） 0 0 0 0
0 1 4
（4回コールド）
（草）塩野、松下―村上
（松）黒川―竹田
（二）富松、宮下（以上草）中川（松）

草加ボーイズ（埼玉） 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
スルガボーイズ（静岡） 0 0 1 2 0 0 0 0 0 1
（延長8回）
（草）泉、横山―上前
（二）塩野―村上
（佐）佐々木―塩野（以上草）
▽準々決勝
草加ボーイズ 2 0 0 0 0 3 0 0 0 0 5
0 1 4

大阪狭山ボーイズ（大阪南） 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
（草）鹿毛、富松―村上
（大）木村、川村―長尾―木和田
（二）安西、宮下（以上草）

▽2回戦
草加ボーイズ（埼玉） 8 3 3 0
松山中央ボーイズ（愛媛） 0 0 0 0
0 1 4
（4回コールド）
（草）塩野、松下―村上
（松）黒川―竹田
（二）富松、宮下（以上草）中川（松）
スルガボーイズ（静岡） 0 0 1 2 0 0 0 0 0 1
2 0 0 0 3 0 × 5 4
（延長8回）
（草）泉、横山―上前
（二）塩野―村上
（佐）佐々木―塩野（以上草）
▽準々決勝
草加ボーイズ 2 0 1 0 0 0 5 0 0 0 × 5 3
大阪狭山ボーイズ（大阪南） 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
（草）鹿毛、富松―村上
（大）木村、川村―長尾―木和田
（二）安西、宮下（以上草）

順調に勝ち上がり、8強入りをした草加ボーイズだったが、準々決勝は初回、相手のスクイズに翻弄された。守備が乱れ、野選などで失った5点が最後まで響いた。捕手の村上達哉主将は「自分のミスで負けたので、死ぬほど練習しなければ…」と肩を落とした。

しかし、力は十分に発揮した。初戦は1回に富松輝の三塁打から打者13人で6安打、8得点と打線が爆発して、4回コールドで圧勝。3回戦は1回、2死三塁から、塩野閣也、佐々木辰弥の連続適時打で2点を先制。4回に逆転を許したが、2回に2点を追う5回に反撃開始だ。宮崎裕人の死球を足がかりに、2死一、二塁から塩野の2点二塁打で同点。「甘い直球がきたら、かっ飛ばしてやろうと思っていた」と塩野。さらに、佐々木が死球でつなぎ、宮下歩の詰まった打球は相手左翼の落球を誘い、勝ち越した。投げては投打で活躍の先発・塩野が中盤に4点を失ったものの、終盤は立ち直り、1点を守りきった。

敗戦後、鈴木浩文監督（54）は「ひとつのアウトを取っていれば勝てた」とナインを一喝。連戦で互いに投手陣は手薄になり、点の取り合いを予想していただけに、負け方に納得がいかなかった。そして、指揮官は夏の全国大会を見据え「今日から仕切り直し」と大きな声を上げ、練習場に向かうバスに乗り込んだ。村上も「先頭に立って頑張ります」と続いた。（多田 隆一）

投打活躍 塩野

順調に勝ち上がり、8強入りをした草加ボーイズだったが、準々決勝は初回、相手のスクイズに翻弄された。守備が乱れ、

ボーイズリーグ BOYS LEAGUE 日本少年野球連盟

笑顔MVP！

伊藤 大智
宮城利府ボーイズ

優勝チーム枚方に1点差 志村

「笑顔MVP！」は選手がグラウンドで見せた最高の表情を紹介しています。次回はキミかも？

▽2回戦
志村ボーイズ（東京東） 0 0 0 0 5 4
鹿児島吉野ボーイズ 0 0 0 1 X 0
1 0 0
（志）有水、瀧圍―原口
（志）倉持、高橋―田野谷
（二）倉持、持田、小西（以上志）
▽3回戦
志村ボーイズ 0 0 0 0 2 0
枚方ボーイズ（大阪北） 0 1 1 0 0 0 1 X 0
3 2
（志）倉持―田谷野
（枚）藤原―神頭
（二）持田、倉持、田谷野（以上志）
田畑（枚）

サヨナラ負け 「次回は倒す」

志村ボーイズが、優勝した枚方相手に好勝負を演じた。エース・倉持健太が伸びのある直球を軸に置いた7回、9番打者に右中間へサヨナラ打を運ばれ「いいゲームをするんじゃなく、勝つことが目標だったのですごく悔しいです」と唇をかんだが、勝敗は紙一重の戦いぶりだった。

倉持が3打点、持田寛登、前多遥悟が適時打を放って鹿児島吉野との2回戦を突破。迎えた大一番は打線が4回まで1安打に抑え込まれて劣勢に回ったものの、5回にわずかなチャンスをものにした。2死後、前多、原駿が四死球で出塁すると「死に物狂いで打ちにいった」倉持は左越えに同点二塁打。ベンチのムードは最高潮に達したが、勝ち越し点を奪えずに力尽きた。

「勝たないと満足してはいけない。夏（全国に）出て、もう1回枚方とやって絶対に倒します」と倉持は王者に対して闘争心をむき出しにした。

枚方を最後まで苦しめた志村ナイン

2、3回戦ともに好投した志村・倉持

志村	
選手名	学年
太世史斗	③
登介斗	③
寛輝	③
樹大哉	③
大地	③
要都徳規悟	③
一斗作郎斗生	③
健拳	③
貴泰雄駿龍	③
一樹大哉	③
一知成晃泰	③
友政友奨り也	③
拓優二翔龍	③
雄	③
凛	②
中多瀧川島村野田	③
林田前大西中中原	③

ボーイズリーグの写真発売中！ スポーツ報知Hで

宮城利府 東北勢初の2勝

▽1回戦
小山ボーイズ（栃木） 0 0 0 2 0 0 0 0 0 5
二日市ボーイズ（福岡南） 0 0 0 2 0 0 0 0 0 5
（小）永島、江藤―大柿
（二）寺岡、齋藤―重松（二）
関口（小）、
▽2回戦
桑員ボーイズ（二重） 1 3 0 0 0 0 0 0 1 5
0 0 1 2
小山ボーイズ（桑）野沢、辻―関岡
（小）永島、江藤―大柿
関岡（桑）竹川（小）

竹川2打点も

小山ボーイズは相手投手の緩急にかわされ、反撃は6回に竹川の適時打で挙げた1点にとどまった。「能力はあるのに、ここ一番に弱い選手が多い」と新島勉監督（54）は残念がった。

2回戦の6回1死二塁、小山・竹川が中前適時打

▽1回戦
桐生ボーイズ（群馬） 0 0 1 0 1 0 0 2
大阪東ボーイズ（大阪北） 0 0 0 2 1 0 × 3
（桐）鈴木―伊藤
（大）岡崎―中山
新島（桐）赤塚（大）

強い気持ちを 桐生ボーイズ

8年ぶり2度目の出場も初勝利は

3回

宮城利府

宮城利府	
選手名	学年
藤野 智輝	③
伊藤 大晃	③
小河	③

▽1回戦
佐賀東松ボーイズ（西九州） 0 0 0 0 0 0 0 1
宮城利府ボーイズ（東北） 0 0 0 0 0 0 2 X 2
1
（延長8回）
（佐）柿木（佐）
（宮）小野―樋口―伊藤
（二）吉田雅―竹下
柿木（佐）

羽曳野ボーイズ（大阪中央） 3 0 5 0 0 0 0 0 0 8
宮城利府ボーイズ 0 0 0 3 0 3 0 0 0 3
（宮）樋口―伊藤
（羽）柱本、上野、大石―松谷
松本（宮）
眞銅、山下（以上

悲願初勝利

松戸中央ボーイズは2回戦で敗退したものの、初戦はエース・古川信之介の好投で悲願の初勝利を挙げた。3週間前から左

初戦に続いて2回戦も好投した松戸中央・古川

▽1回戦
兵庫西宮ボーイズ（兵庫） 1 0 0 0 0 0 0 0 1
1 0 0 0 1 2 × 4
松戸中央ボーイズ（千葉） 1
（兵）田中佑―田中智
（松）古川―金子
（二）高田（兵）金子（松）西谷（兵）
▽2回戦
鯖江ボーイズ（福井） 0 0 1 5 2 1
0 0 1 0 1 1 0
松戸中央ボーイズ
5回コールド
（鯖）番場―佐藤―杉森
（松）斎藤、山崎、小野樹一朗
古川（松）金子
（太）杉森（鯖）山本、長井（以上鯖）

初戦サヨナラ

初出場の宮城利府ボーイズが、堂々のベスト16入り。初戦は苦しい展開だった。佐賀東松（西

▽3回戦
宮城利府ボーイズ 0 0 0 0 0 0 0 0 0
大阪狭山ボーイズ 2 0 2 0 0 0 0 3 X 7
（5回コールド）
（宮）小野伊藤
（大）片岡、長尾―森田、木和田

九州打線15三

発の裏

交代

を放

口霧

ぴ、

2死

く寺

ぼっ

た白

躍を

回、

太ももを痛めていた右腕は、気迫の投球で7回1失点だ。2回戦は1点を先制された初回、岩下瑞希の中前打、斎藤北斗の四球などで、2死満塁としたが無得点。流れを引き戻せなかった。井垣茂人監督（42）は「意義ある1勝。チームの歴史を作ってくれた。全国の強豪に教えられた課題をクリアして、ステップアップしたい」。古川は「全国から見れば、まだ、ちっ

不